

第42回 六甲クイーンズオープントーナメント

8名による決勝ラウンドロビン対戦表

ROUND	21L - 22L	25L - 26L	29L - 30L	33L - 34L
1	名和 秋 VS 石田 万音	坂倉 凜 VS 松永 裕美	太 琳華 VS キム・ソヒョン	近藤 菜帆 VS 金子 萌夏
2	キム・ソヒョン VS 金子 萌夏	太 琳華 VS 近藤 菜帆	石田 万音 VS 松永 裕美	名和 秋 VS 坂倉 凜
3	太 琳華 VS 松永 裕美	名和 秋 VS 金子 萌夏	近藤 菜帆 VS 坂倉 凜	石田 万音 VS キム・ソヒョン
4	坂倉 凜 VS キム・ソヒョン	近藤 菜帆 VS 石田 万音	名和 秋 VS 太 琳華	金子 萌夏 VS 松永 裕美
5	近藤 菜帆 VS 名和 秋	松永 裕美 VS キム・ソヒョン	坂倉 凜 VS 金子 萌夏	太 琳華 VS 石田 万音
6	石田 万音 VS 坂倉 凜	金子 萌夏 VS 太 琳華	松永 裕美 VS 名和 秋	キム・ソヒョン VS 近藤 菜帆
7	松永 裕美 VS 近藤 菜帆	キム・ソヒョン VS 名和 秋	金子 萌夏 VS 石田 万音	坂倉 凜 VS 太 琳華
P・M	8位 VS 7位	6位 VS 5位	4位 VS 3位	2位 VS 1位

■ ラウンドロビン方式（総当たりボーナスポイント方式）の説明

今回、予選・準決勝を勝ち抜いてきた上位8名の選手による決勝の競技方法はラウンドロビン方式です。

一人の選手が他の7名の選手と1ゲームマッチで、そのつど勝敗を決めていく方法で、ちょうど駒鳥が木々の枝から枝へと飛び廻る姿から、“ラウンドロビン”の名称がつけられたと言われています。

この方式は、200点を基準とし、1ピンが1ポイントとして計算されるシステムです。200点を基準に上下のピン差でプラス点・マイナス点が出され、これに定められた勝ち点30ポイント（ボーナスポイント）が勝者に得点されていくものです。

例えば、A選手とB選手が戦い、A選手が220点・B選手が190点でA選手が勝った場合、勝者には定められた30ポイントと200点をオーバーした20ピン（ポイント）が加算され、50ポイントがA選手のポイントとなります。B選手は200点に達しなくまた敗れたので、200マイナス10となり、A選手のプラス50に対してB選手は、マイナス10とその差は大きく開いてしまいます。

またC選手とD選手が戦い、C選手が215点・D選手が220点でD選手が勝った場合、D選手はプラス50、C選手はプラス15となります。またE選手とF選手が戦い、E選手が198点・F選手が180点でE選手が勝った場合、E選手はプラス28・F選手はマイナス20となります。

尚、同ピンで引き分けの場合は、両者に15ポイントが与えられます。

そして総当たり1回戦7ゲームが終わって、1位と2位・3位と4位というように順位（ポジション）ごとに対戦していくポジションマッチ1ゲームを行いTV決勝進出者4名を決定致します。

このように1ゲーム、1ゲームが大事な勝負となります。A選手は何勝何敗か？ポイントは何のくらい稼いでいるのか？プロの熱い戦いに期待して下さい！！

■ TV決勝（4名によるステップラダー方式）

上位4名にて、順位ごとの対戦で勝つごとに順位を上げていく試合方法。

※トップシードの選手が優勝決定戦で敗退した場合、再優勝決定戦を行う。

